職務経歴書（サンプル）

2023年●月●日現在

 氏名：○○　○○

■要約

　※学生時代の専門分野、研究内容について触れた後、これまでの企業での職務内容（対象製品、経験年数）やどんなことができるのか、簡単に記載して下さい。ボリュームとしては5行程度で問題ありません。

学生時では機械工学の研究室においてロボットアームの研究をおこなっておりました。大学卒業後は、機械4力、ロボット制御の経験を活かせる総合機械メーカーである株式会社○○に入社、 製品開発におけるプロジェクトマネジメント業務に従事しております。主に、自動車メーカー向けに仕様打ち合わせから入りニーズ理解を実施し、本国との折衝調整も行い成果物提供を行っております。併せて新技術リリース時に顧客に対して逆提案し受注できるよう活動も実施しております。

■活かせる知識・経験

※企業での経験・知識の他、ツール類等については学生時代のものも含めて記載頂いて構いません。

・顧客折衝、調整

・機械4大力学（機械力学、材料力学、流体力学、熱力学）に対する知識

・製品全体の仕様検討～構想設計～基本設計・機能設計～詳細設計の経験

・本国との技術折衝、情報交換

・生産部門と連携を取り試作・量産立ち上げまで経験

・不具合改善

・コスト低減活動

・メンバー5名のマネージメント

・２D-CAD,３D-CADを用いた設計（CATIA　V5、Solidworks）

・素材（樹脂、金属）に対する知識、特徴

・一般的なPC操作（Excel、Word、PowerPoint 等）

■職務経歴

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期間 | 業務内容 | 使用ツール必要知識 |
| 0000年0月～現在＊ご経歴の新しい順に記入 | 株式会社○○　□□課に所属（メンバー：〇名/役割：主任）※所属組織、メンバー、役割を記載して下さい。仕事の責任度合、役割期待が伝わります。＜主な業務内容・取り組み＞自動車部品のプロジェクトマネジメント• 車両制動時に使用される油圧ブレーキユニットの技術営業、および設計棚入れ活動を実施。三菱自動車の技術窓口を担当。• 国内外の生産工場の試作品の仕様決めと、量産移行を支援• 設計簡素化や部品共通化によるコストダウン活動• あらゆる走行条件を想定し、製品仕様や試験仕様、耐久要件を策定• ドイツ本国の R&D と仕様策定の妥当性を折衝• 車両制動時に使用される油圧ブレーキユニットの技術営業、および設計棚入れ活動を実施。現代自動車（韓）の技術窓口を担当。• ISO26262 に準拠した設計トレーサビリティの担保• 搭載ブラケットの強度解析、共振モード CAE 解析を実施• 設計～製造間のデータや、プロジェクト管理に使用する SAP-PLM とその IT システムのリーダーを担当※↑業務プロセスを１つ１つ箇条書きで記入ください。　　自分の仕事がどこから始まり、どこまで担当するのか振り返りまずは思い出した業務すべて記入ください。＜実績・成果＞コストの見直しを図り、業界初の技術を取り入れることに成功した。その結果、３０％のコストダウンに貢献できた。また、部下5名のマネージメントも行い若手の育成経験を積むことができた。　＊あなたが業務に携わったことにより、「何をどれ位（数値）」で表せると効果的です。採用する企業があなたを迎え入れることでどんなメリットがあるか判断する事ができます。文系の方や人事の方も見られる書類です、数値で表せると知識が無い方でもイメージがしやすくなります。 | CATIA　V5Auto　CAD筐体設計板金配管設計マネージメント |

■特許：

・（特許第XXXXXXX号）：「名称をご記入ください」

・（特許第XXXXXXX号）：「名称をご記入ください」

・（特許第XXXXXXX号）：「名称をご記入ください」

■資格・表彰など

　2020年7月　　TOEIC　670点

　2004年5月　　設計工程の見直しの功績から社長賞を受賞する

　1999年5月　　第一種普通自動車運転免許証

＊取得年数が分からない場合は取得資格名だけで構いません。

■学士、修士研究概略　←　転職先で活かせる研究内容、また20代・第二新卒の方は記載ください

※テーマが同一の場合はまとめて、そうでない場合は分けてまとめてください。

●●●●大学大学院●●●研究科　●●●研究室　（YYYY年MM月～YYYY年MM月）

＜研究テーマ＞

　●●●部位をコアに持つ△△の合成とその評価

＜研究概要＞

　※研究の目的、実際に行った検討、実験・評価手法などを端的にご記載ください。

＜研究成果＞

　※研究の目的、実際に行った検討、実験・評価手法などを端的にご記載ください。

■自己ＰＲ

※業務経験または研究で身に付けたビジネススキル、業務の進め方、心がけ、周囲とのやりとりにおけることや

パーソナリティなどを意識してまとめてみてください。

機械設計、板金、ダイキャスト部品の小型精密部品についての知識・経験を有しております。

また、研修時に様々な部門を見ることができた為、設計の上流工程のみならず、開発～製造のフェーズまで含めた一連の流れを意識したモノ作りの知識を習得しました。

顧客との折衝も直接行うことがあり、まずは相手の立場や考えを十分に理解した上でこちらの考えを伝え、お互いが納得できるモノ作りを心掛けてきました。お互いが納得したゴール設定を設けることにより、多少の困難に対してもその先を目指して進むことができる信念を持つことができました。

以上

＜以下のキーワードご参考に、経験があるものは全て記してください＞

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【業務プロセス】

商品企画・お客様要求仕様　→　仕様検討　→　構想設計（DR）　→　基本設計（DR）　→　詳細設計　→　部分設計　→　製図・作図　→　試作・評価　→　製作・量産（部品手配、加工手配、製造手配）　→　検査・評価　→　梱包・出荷

【各業務プロセスで発生する仕事】

＊仕様検討

顧客要望・商品企画の理解、顧客折衝、顧客・関係部門との打ち合わせ、要望通りの製品ができるかの判断、

問題提議、代替え案提案、

＊構想設計

設計書（仕様書）の作成、製品全体の技術理解、電気系・ソフトウェア系の知識、特許理解、機能性能の数値化、

プロジェクト達成に向けた検討・行動力、QCD調整業務、材料・素材の知識、組立・加工の知識、

＊基本設計

　CAD設計、部品寸法、機構・部品干渉、排熱、レイアウト、強度、材質・素材知識、シミュレーション試作、

＊デザインレビュー（DR）

　次ステップへ進む前の確認、関係部門との打ち合わせ、修正提案、スケジュール再調整、解析・評価ツールの導入

機能・性能・コスト・安全性・操作性・法令などの要求仕様確認、信頼性・安全性などの問題確認、

【設計技術者の業務成果・求められるもの】

・具体的な構造、機構を決め、素材・材料を選定し、設計計算により各部品の詳細形状、寸法などを定める

・技術者にしかできない、コスト、耐久性、安全性、信頼性などの検討。

・仕様書・設計書の作成。顧客の要望書は不足情報が多く、製品を設計するために必要となる情報を補うための

コミュニケーションが必要。必要に応じて仕様確認のための会議を開催し発注者と設計者の間で相互確認をおこなう。

・既存製品に関するトラブルや苦情情報を広く収集して、常に改善の工夫を行う

・特許の知識（特許侵害、特許申請）

・コストや納期の意識。自身で認識、チームに認識させる、立場に応じて求められることが異なります。

・機械の機能・性能のみならず、安全性、信頼性、取扱性などにも万全に気を配って設計する必要があります。